津ライオンズクラブ会報：2023年2月24日号　●通巻　第391号

スローガン：「笑顔」　なかまとともにWE SERVE

TSU LIONS NOW

津ライオンズクラブ　〒514-0633 津市丸之内24-16タカノビル4階　TEL 059-226-0513
http://www.tsu-lc.com　E-mail：tsu-lc@topaz.ocn.ne.jp

新年をワインでブラボー！

博識・L赤塚高之のワイン話を聞く

長期在籍者を表彰

年男をお祝い

2023年1月第1（1505回）新年例会：1月13日（金）：ホテル津センターパレス

星山会長の新年のご挨拶では残りの半年間全力で頑張りますとの事でした。

アワード贈呈で長谷Lの40周年をはじめ10人の方々が発表されました。

審議事項では忘年例会の件で倉田会計より説明があり承認されました。

２０２２年度下期予算の件で辻Lより説明があり承認されました。

下期メインアクティビティ実行委員長の委嘱の説明が星山会長より説明がありました。

報告事項では主なことは四クラブ合同献血で津ライオンズでは38名の参加があり片岡幹事よりお礼の言葉を頂きました

伊藤健Lより下期アクティビティを心を一つに、よろしくお願いします。との言葉を頂きました。

そして新年会のスタートです。

年男、年女の発表で新開正浩L楠井隆L倉田浩延L３名の発表がありました。

ワインのお話で、赤塚高之Lの講話がありワイン発祥は６０００年前から存在すること。赤ワイン、白ワイン、の違いなどを丁寧に説明して頂き勉強になりました。

ナポレオン三世が世界にワインを広めたのを聞き驚きました。

新年会も非常に盛り上がりました。

星山会長のお言葉で兎年は喜ばしい出来事多いとの事でした。

本年も皆様方に良い出来事が沢山ある事を祈願します。

（山田信之・記）

津まつりを聞く

1月第2（1506回）例会
1月27日（金）
ホテル津センターパレス

津民芸保存会等会長
川北晃司様

今回は、津民芸保存会会長、津まつり実行委員長、津郷土芸能連絡協議会前会長の川北晃司様を迎え昼例会が開催された。

L星山会長の挨拶では、以前から親交のある川北様について、楽しいエピソードを交えてご紹介された。また、五月八日から五類に移行することが決まった新型コロナウィルス感染症について、様々な規制が緩和されていくことになるが高齢者の死亡率が高いことに鑑み、当クラブとしては健康と安全を第一と考え慎重に運営していく、という方針が示された。

その後、2022年度上期決算案および会計監査報告、新年例会収支決算案、指名委員委嘱等の審議が行われ、いずれも承認された。次に、新入会員招請、第17回津市社会福祉大会における表彰式、四クラブ合同街頭献血等の報告が行われ、昼食・懇親タイムに続いて、川北様の卓話です。

川北様は、幼少期、父親の出身である桑名市で育った。そこで石取祭りに出会う。この祭りは、江戸時代初期に始まる。山車の数が多く、鉦や太鼓を打ち鳴らす「日本一やかましい祭り」と言われており、国指定重要無形民俗文化財に指定されている。その後、お住まいを津市に移され、二十五歳の時に津民芸保存会に入り、津まつりにおいて八幡獅子舞を舞う。この頃、獅子舞を見て喜ぶ市民を見て、伝統文化を継承することを強く意識するようになったそうである。

津まつりは、1635年藤堂高次公の命により津八幡宮にて始まる。費用は銀子10貫目（現在では約1250万円）。参加者は1750名ほどであった。　神輿の前後に八幡獅子舞が舞う。唐人踊り、大名のものまねなども行われたそうである。明治の後半には からくり人形の山車もあった。その後、戦争により中断。昭和21年にGHQに申請し許可を受け再開。現在は3000万円ほどの予算で行われている。平成10年からは安濃津よさこいも行われている。新型コロナウィルス感染症拡大の影響により中止されていた津まつりは、今年度3年ぶりに行われた。安濃津よさこいは全国から50チーム、人数では2300人が参加し大盛況であった。

川北様から大変興味深い卓話をいただき、三重県の歴史と伝統を感じられた例会となった。津郷土芸能連絡協議会の創立20周年記念行事として、令和5年3月5日に第9回郷土芸能ふれあいフェスティバルが開催される。また、津まつりは、来年度も10月に行われる予定である。多くの県民がこれらに参加され、すばらしい伝統文化が継承されることを期待する。

（L伊藤・記）

L酒井正樹が新入会

2月第1（1507回）例会・2月10日（金）

2月第1例会が2月10日12時15分からホテル津センターパレスにおいて開催されました。

L星山会長は、冒頭の挨拶で、3年振りに開催された2月3日の津観音寺「鬼押さえ節分」（豆まき）に触れられ、「今回の人出は3年前より多い気がした。現状、三重県の新規コロナ感染者数は千人を超える日もあり、まだまだ油断はできないものの、今後のライオンズの活動については出来る限り計画通り推進していきたい」旨、力強くお話されました。

続いて行われた新入会員の入会式では、スポンサーのL平野忠良より、岡三証券㈱津支店法人部長のL酒井正樹が紹介されました。

次に行われたアワード贈呈では、2021～2022年度の優秀賞としてL宮木康光、キー賞としてL平野忠良、2022～2023年度のキー賞としてL橋本正治、L堀川隆市の計4人への贈呈が行われました。

また、本例会の報告事項の1つである「四クラブ合同街頭献血報告」では、当ライオンズクラブとして3月10日の期日までに100名の献血者を目指していることから、引き続き、会員の皆様のご協力をお願いしたい旨の報告がありました。

昼食を挟んで開催された発表会「西橋内中学校　職業人講話に参加して」では、最初に本講話会に関するZTVのニュース映像が会場に流され、その後、講師のL長谷、L橋爪、L有川の3人から、当日の模様について詳細な報告がありました。

講話会に参加した中学生のインタビューでは、「自分の将来の夢を考えるキッカケになった」、「インテリア作りに興味を持った」等々前向きな発言が相次いでおり、本講話会が非常に有意義なものであった事を感じることが出来ました。

最後に、L吉田より出席率に関し、「本日は目標到達に3名不足していた。常に目標（出席率70％）をクリアできるよう皆で頑張っていこう」との報告がありました。

（新開・記）